事例集発行に当たって

大阪府では、国が平成 19 年度より創設した「放課後子どもプラン」を踏まえ、地域社会の中で、子どもたちが放課後や週末等の安全・安心な居場所において健やかに育まれるよう、教育委員会が所管する「教育コミュニティづくり推進事業」の中の活動の一つである「おおさか元気広場」と、福祉部が所管する「大阪府放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ)」の２事業の充実を図ると共に、両事業の連携を進めています。

連携の推進に当たっては、平成 21 年度に放課後子どもプラン推進委員会を設置し、委員が自ら地域の特色ある取組みの訪問取材を行うケーススタディを積極的に実施しながら、大阪府における総合的な放課後対策事業の在り方について協議を重ねてきました。

このようなケーススタディで収集した事例を中心とする、府内の 19 の優れた取組みについて、その概要やポイント、子どもや支援者の声等を紹介し、活動のさらなる充実をめざす各広場・クラブの参考としていただくため、このたび「大阪府放課後子どもプラン実践事例集」を作成いたしました。この事例集を活用いただくことにより、各市町村及び元気広場、放課後児童クラブ、支援学校等における活動がさらに充実したものとなれば幸いです。

「よき指導者はよき傾聴者」と言われるように、子どもは、自分の存在を認め、話をよく傾聴してくれる「人」を求めています。そのような人が居る場こそ、子どもが安心して過ごすことができるよき居場所となり、子どもたちの豊かな成長に大きな役割を果たします。２つの事業の連携により、このような子どもと大人とのつながり「ナナメの関係」がさらに深まり、子どもたちの生きる力が豊かに育まれます。

「放課後子どもプラン」の取組みが子どもたちにとっても大人にとっても、豊かな出会いの場や学びの場となり、そのような出会いとつながりの積み重ねが地域コミュニティの一層の活性化につながっていくことを祈念いたしております。

最後になりましたが、この事例集の作成にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただきました大阪府放課後子どもプラン推進委員会並びに市町村、関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

平成 25 年 4 月

大阪府教育委員会事務局市町村教育室
地域教育振興課長　吉原　孝

大阪府福祉部 子ども室
子育て支援課長　森田　正典